※令和４年度以降入学生用

学校番号	204

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の音楽Ⅱ」　（教育芸術社）						
副教材等	プリント、観賞用ワークシート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌うこと＝歌唱、楽器による演奏＝器楽、音楽をつくること＝創作、これら三点による「表現」、及び音楽を聴くこと＝「鑑賞」について、年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、受講者とともに実際に音を出し、聴き、試してみてこそ価値あるものとなり、そうした体験を通して感性が豊かになります。
・音楽がみなさんの心の支えとなり、人生の一部となることを願っています。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
感性を高め、自己のイメージを基に創造的な音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながら、そのよさや美しさを自ら味わって鑑賞する能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，音楽文化についての理解を深め、生涯にわたり音楽を愛好する心情を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的、歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すのか表現意図を持ったり、音楽を評価しながらその良さや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的･協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基本的な歌唱・歌詞に込められた思いを感じ取り、表情を工夫しよう	【歌唱】 コンコーネ 50 番より 1番・2番 糸	a:知識 曲想と歌詞との関わりについて理解している。 技能 創意工夫を生かした歌詞表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などを身につけ、歌唱で表している。 b:音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:正しい発声法を身につけて表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・共同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギター入門 ギターで旋律を弾いてみよう	【器楽】ギター 基礎練習 練習曲 Op.1 簡単な旋律練習	a:知識 基本的な奏法について理解している。 技能 創意工夫を生かした表現をする為に必要な、他者との調和を意識して演奏する技術を身につけ、演奏で表している。 b:音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:楽器の構造と奏法の関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
	オーケストラの楽器について学ぶ	【鑑賞】 「青少年のための管弦楽入門」	a:知識 各楽器の音色、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 b:各楽器の音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に体する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:各楽器の音色、特徴に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
2学期	ミュージカル作品に親しむ	【歌唱】 Shall We Dance オペラ座の怪人	a:知識 言葉の特性と曲種に応じた発想との関わりについて理解している。 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技術を身につけ、歌唱で表している。 b:リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:英語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取

※令和４年度以降入学生用

2学期	ギター入門 アンサンブルを楽しもう	【器楽】ギター合奏 紅葉 ミッキーマウスマーチ	a:知識 曲想とリズムとの関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした表現をする為に必要な、他者との調和を意識して演奏する技術を身につけ、演奏で表している。 b:音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:リズムパターンの変化と曲想との関わりに関心を持ち、主体的･協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。a:知識 カノンの特性と曲種に応じた発想との関わりについて理解している。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【鑑賞】 オーケストラ作品	a:知識 各楽器の音色、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 b:各楽器の音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に体する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:それぞれの音楽に関心を持ち、主体的･協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
3学期	ジングルを作ってみよう イメージを音で表現してみよう	【創作】 身近なもののジングルを創作する	a:知識 指定された調子から感受したイメージに基づきながら、表したいイメージとかかわらせて理解している。 技能 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復や変化などの手法を活用して音楽を作る技能、および旋律を作ったり、作った旋律に副次的な旋律を加えるなどの技能を身につけて、創作で表現している。 b:音色、リズム、テクスチュア、を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:イメージと音楽との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 c:音や旋律で表現することに関心を持ち、主体的･協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品提出	観察 ワークシート 作品提出	観察 ワークシート 作品提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度